

令和 7 年 2 月 14 日 (金) 発行



商大附高だより

編集 高崎商科大学附属高等学校父母の会

〒370-0803 高崎市大橋町237-1 TEL (027) 322-2827



第95号 2025・2

ご挨拶



父母の会会長
永田 衛

会員の皆様には、常日頃、父母の会活動に、ご理解、ご協力を賜り誠にありがとうございます。

今年度は、メイン事業として昨年度に開催された商大附高祭に、父母の会として役員の皆様と、エシエルカフェを盛況にて運営させていただきました。

私も、各クラスや部活動の催し物を見学させてもらい、高校生しか表現できない、あの独特な空間や感覚を体験し、とても懐かしく想い、心を打たれた素晴らしい文化祭でした。

さて、今の高校生はコミュニケーションの手段が、相手の表情を感じ取りながら意思表示する会話より、スマホ等のネット機器での意思伝達が多くなっています。

これは、上手に利用できれば便

利ですが、他方、会話が少なくなり、人との触れ合いも希薄になります。そうすると、人付き合いが必要とされる重要な「相手を思いやる心」が成熟されないで、自己中心的な人格が形成されるのではないのでしょうか。

では、「相手を思いやる心」を持つにはどうすればよいのか。

人は相手の短所に、どうしても目が向いてしまします。しかし、大切なのは相手の長所を見つけるその目を磨くことです。

相手の欠点を多く見つけるだけで、良い所を感じ取ることができない人は、思いやる気持ちも生まれてきません。反対に、相手の美点を多く見つけられる人は、相手に尊敬を感じ、思いやる気持ちも生まれてきます。

進化するネット社会では、私達も常に目を磨き続け、子ども達に手本を示していくことが、より一層必要になるのでしょう。

最後になりますが、高崎商科大学附属高等学校の益々のご発展と、会員の皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げます。

ご挨拶



校長
安齊 義宏

新年あけましておめでとうございます。父母の会会員の皆様には、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

今年の干支は「辰」から「巳」へと移ります。巳年は古くから「脱皮」や「再生」の象徴とされ、新しい自分へと変化し、成長する年といわれています。これを契機に、本校生徒たちも新たな挑戦や可能性に向かい、一歩踏み出す年にしてほしいと願っています。

振り返りますと、昨年は多くの課題や変化の中で、生徒たちが懸命に努力し成長を遂げた一年でした。本校では、学びを深化させるためにICTを活用した授業の取り組みが進む一方、運動部や文化部の活動を始め、二年に一度開催

される商大附高祭も盛大に行われ、学校生活の中で生徒たちのエネルギーが溢れる場面が数多く見られました。新年度に向けて、さらに学校全体が飛躍できるよう取り組んでまいります。

一方で、近年は社会全体が急速に変化し、AIの進展や少子化など、将来を見据えた課題が増えています。このような時代において、子どもたちには変化を恐れるのではなく、柔軟な発想と挑戦する心を持ち、社会に貢献できる力を養ってほしいと思います。そのためには、私たち大人が共に手を携え、子どもたちが安心して挑戦できる環境を整えることが重要です。

新年度は、四月には学年も変わり新たなカリキュラムがスタートし、生徒たちは一層多様な学びや経験に触れることとなります。卒業生においては、これまで培った力を新たなステージで存分に発揮し、社会での活躍を期待しております。在校生には、日々の生活や学びを大切にし、小さな積み重ねを通じて成長してほしいと願っています。

最後に、保護者の皆様には、引き続き本校の教育活動に温かいご

支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。

本部署員挨拶

「今年度をふり返って」

副会長・三学年委員長

間 正 良 昭

明けましておめでとうございませう。会員の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

今年度、父母の会では総会、学年・学級懇談会、マナーアップ運動、二年に一度の文化祭でのエンジェルカフェの出店、後援会との合同研修会など、多くの事業を通じて親睦を深めることができました。運動部の応援や吹奏楽部の定期演奏会では、生徒の皆さんの普段見ることのできない真剣な姿に触れ、大変感動しました。

三年生にとっては、高校生活もいよいよ残りわずかとなりました。この三年間は、かけがえのない時

間であり、大切な思い出となったことでしょう。また受験に向けて努力を重ねている生徒の皆さんも多いと思いますが、「焦らず、慌てず、諦めず」の気持ちを大切に、最後まで挑んでください。心より応援しています。

最後に、会員の皆様のご健勝とご多幸、商大附高の益々のご発展をお祈り申し上げます。

副会長・二学年委員長

庄 司 直 樹

新年おめでとうございませう。

昨年は、多くの父母の会会員の皆様にお力添え頂き誠にありがとうございました。

役員としていくつかの行事に参加させて頂きました。

その中で印象に残っているのは、マナーアップ運動に参加させて頂いた時のことです。

自転車通学の生徒が、多種多様なヘルメットを被っているではありませんか！バケットタイプ、キャップタイプ、メッシュタイプ、パンダタイプ、UVタイプ、e t c. とあるテレビCMのように「今つて、そうになっているの」と驚き

ました。

そして、商大附高祭の開催です。父母の会コーヒーショップ「Angel Cafe」の出店。

準備から二日間の出店で、交流する事が少ない父母の会のメンバーとも絆が深まり、楽しく参加させて頂きました。

開催にあたりまして、校長先生を始めとする教職員の方々、並びに関係者の皆様にご尽力頂きました事に感謝申し上げます。

副会長・一学年委員長

摩 庭 優

本年も宜しく願いました。一年生はまもなく入学から一年経ちます。皆さんは振り返って何か成長や思い出はできたでしょうか？

文化祭という大イベントがあり最高な思い出が作れたと思います。機会を頂いた学校関係者の皆様ありがとうございました。

もうすぐ卒業式も迎えます、三年生の皆さんは将来について希望や不安を感じていると思います。うまくいかない事ばかりが続く事もあるでしょう。今以上に人間

関係も難しい状況になるかもしれません。

ただ忘れてほしくないのが何事にもチャレンジすることが大事です。悩んで時間を費やすならすぐに行動するように心がけてみてください。人は一生懸命に取組めば必ず誰かが助けや応援をしてくれます。まず諦めずとことん失敗を恐れずチャレンジして頂きたいです。

未来ある子供たちのご発展とご多幸を心より祈っております。

書記 中 林 桂

令和六年度もあと一ヶ月余りとなり、私が父母の会役員として皆様のお手伝いをさせて頂いたから一年が過ぎようとしています。この間、皆様には数々のお手伝いをさせて頂き誠に感謝いたしております。多くの人の協力があったからこそ、この一年を乗り切る事が出来たのではないかと考えております。本当にありがとうございました。

今年度は昨年度よりもさらに学校行事や部活動に対する制限が緩和され、子供達もののびと活動

する事が出来、思い出に残る一年になったのではないだろうか。子供も三年生になり、たくさん仲間が出来、いろいろな意味で今までで一番成長した一年だったのではないかと思います。

今年度で最後となりますが、様々な経験を今後に生かす事が出来ると思っております。また良き仲間にも出会う事が出来良かったと思います。

最後に皆様のご多幸と商大附高の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。

書記 清水龍宴

息子は夏からいろいろな経験をしました。水泳で関東大会に出場。部員二人ですが、大会へのエントリーや引率など、学校が便宜を図って下さるので続けられます。ありがたいです。その後は二十日間、合衆国への一人旅。妻の伯母家族がロサンゼルス在住で、全面的にバックアップしてくれるから可能になった計画です。不安はないのか、ノリノリで出発し、帰ってくると「アメリカに住みたい」と言い出しました。

二学期に入るとトラブル多発、学校を休む日が増えました。低気圧が近づくと頭痛で起きられない。腰が痛くて動けないというので診てもらったら椎間板ヘルニア。入学当初から皆勤を目指すように言われていたのに、危機的な状況です。

皆勤や毎日の勉強といった親の願いはかきませんでしたが、息子自ら積み上げているものもありました。毎日シャワーを浴びながら英語スピーチの反復練習。一年後の水泳大会のために吐き気を催すほどの強化練習。英語スピーチについては先生方の指導が実を結び、関東甲信越のコンテストまでこぎつけました。

理想とは違う方法になりそうですが、自分の目標に向かって、進路を開拓してほしいと願うばかりです。

会計 根岸由美

新年あけましておめでとうございます。楽しいお正月をお迎えできるようにか。

近頃私の周りでは、暖かくて十二月ばくねいね、お正月って感じがしないね、など聞く事が多くな

りました。昨年末窓を開け部屋の掃除をしていると「なんか年末って感じ！」と娘から一言。毎日慌ただしくしている様子でも、季節を感じながら日々を過ごしているのだなと思いが暖かくなりました。

一年前、二年生三学期の修学旅行では何に荷物を入れて行く持って行くと、一緒に買い物へ行き準備を楽しみました。初めての飛行機など不安もありましたが、帰ってきてからは楽しかったお土産話でいっぱいになりました。

それから商大附高祭では父母の会役員としてエンジェルカフェの飾りつけ販売をし、子供達の仮装も個性豊かで、おばけ屋敷の行列は一時間待ちと大盛況、楽しく良い思い出になりました。

これから大変な事もあると思いますが、乗り越え素敵な人になってほしいと願っています。

商大附高の益々のご発展と皆様にとって心豊かな一年になりますようお祈り申し上げます。

会計 鶴見有理砂

新年あけましておめでとうございます。父母の会役員の皆様にお

かれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

今年度は、例年通り総会、学年学級懇談会に始まり、十月には二年に一度の商大附高祭が開催されました。大勢の来場者を迎え賑わう様子や子供たちの晴れやかな表情から、やっとコロナを強く意識せずに楽しめるようになったのだと感慨深い気持ちになりました。父母の会役員としてはコーヒーショップをお手伝いさせていただき、前日準備を含め三日間、自分も学生に戻ったかのような充実した時間となりました。

行事を安全に開催できるようご尽力いただきました教職員の方々

に心より感謝申し上げます。末筆ではございますが、会員の皆様のご多幸と商大附高の益々の発展を心よりお祈り申し上げます。



三年生保護者より

旅立つ我が子へのメッセージ



F312 植原 紀子

たくさんの希望や期待。そして新しい生活への少しの不安を抱きながらじまった高校生活。あつという間に友達もでき、毎日楽しく充実した日々を過ごしていましたね。

体育祭、文化祭、課外活動など、全力でとりくむ姿をうれしく思っていました。私も役員をやることで行事にも参加でき、一緒に楽しむことができました。ありがとうございます。時には悩み、涙することもありました。でも「ワー」とはきだし、すっきりし、引きずることもなく、皆勤賞を目指し、毎日学校に通う。自分の気持ちに正直で、ブレることのない、まっすぐでひたむきな姿勢に、たくましさを感じています。いつも見守っていてくれた友達、先生方に感謝です。これから始まる新たなステージ。楽しみですね。『猪突猛進』いろんな事に挑戦して、たくさんの人との出会いを大切に。

家族みんなで見守り、応援しています。卒業おめでとう。

F315 奥村 花恵

お揃いの制服を着て、二歳上の姉と並んで笑いあつて登校していた後ろ姿がもう昨日のことに思うほど。あつという間に卒業の日を迎えます。卒業おめでとう。

コロナ禍による自粛や制限の生活から、ようやく元の生活に近づいたこの三年間。楽しかったこと、嬉しかったこと、頑張ったこと、時には理不尽に感じることもあったかもしれないけれど、その全てが貴方の糧となり、きつとあとで大切な思い出になると信じています。

春からは新しい環境で、新しい仲間と過ごす日々が始まります。成人となり自分で判断する場面も増えるでしょう。車にも乗れるようになつて自分一人でもどこへでも行けるようになるでしょう。それでもずっと変わらず大切な娘です。

楽しい学生生活を送ってね。そして目標に向かってがんばってね。ずっと応援しています。

F316 山田 絢子

「いつてきまーす」我が子の後ろ姿を見送る。積み重ねる事十数年、まもなくこの様な何気ない毎日の朝もゴールが近づいていることに我が子の成長を嬉しくも、少し淋しくも感じてしまうのです。高校生活の三年間、自分探しを進める中で、寄り道をし、遠回りをしながらも少しずつ人生を進める姿を見守りました。時には思う様に行かない事、意見の合わない事もあったでしょう。数々の矛盾もあったのだと思います。その様な中で、理解ある先生方に恵まれ、よき友人に助けられ、自ら考えながら人生を進めていく姿に親としても成長させてもらった事に感謝の気持ちでいっぱいです。

これからは、積み重ねた人生を基にまだ見ぬ多くの世界に進むであらうと思います。感謝の気持ちを忘れず健康に人生を歩んでください。卒業おめでとう。

「いつてらっしゃい」

S312 赤石 花子

中学三年の秋、突然、商大附に行きたいと言い出し、周囲の人を驚かせたと同時に、沢山の人に手を貸してもらい、あつという間に入学。親の心配はよそに入学後は、「毎日学校が楽しい。」「この学校に入って良かった。」と言っていました。親から見ても毎日日本当に高校生活を謳歌している姿が見られ、とても安堵したのを昨日の事のように思い出します。本人の力とはもとより、商大附の先生方に支えて頂きながら、素敵な友達に出逢い大きな存在があったが故に、高校三年間楽しく過ごせたのだと思います。

小さい時から自分のやりたい事が明確で、目標に向かって突き進む強い意志は、周囲の人をも動かしてしまう本人の力と同時に、常に感謝を忘れず言葉にしてきちんと表してくれる事で信頼を得ているのだと思います。大学へ行ってもまた新たな出逢いがある事でしよう。自分らしく、感謝を忘れず、夢に向かって進んで行って下さい。

学校(大学)選びのチェックポイント



① 専門性や知識を活用する力が身につくか？

- ☐ 将来役立つ力が身につく専門教育があるか？
- ☐ 教育内容がアップデートされているか？
- ☐ ICTを活用した授業の工夫があるか？
- ☐ 成長が目に見えて分かる仕組みがあるか？
- ☐ 学生の成長を後押しする指導が行われているか？
- ☐ 学習情報を指導に生かすシステムがあるか？
- ☐ 正課の授業以外に成長につながる活動があるか？

② 成長を社会に結びつけるキャリア形成支援を行っているか？

- ☐ 1年次からキャリア支援が受けられるか？
- ☐ どんな資格を取ることができるか？
- ☐ 就職サポート体制が手厚いか？

③ グローバルスキルが身につくか？

- ☐ 留学制度は充実しているか？
- ☐ オンラインを活用した交流があるか？
- ☐ コミュニケーション重視の英語教育が行われているか？

④ 入試の制度は把握しているか？

- ☐ 入試の制度は？(方法・受験会場など)

⑤ 費用の支援制度が充実しているか？

- ☐ 経済支援制度は充実しているか？(奨学金など)

【進学状況】

新年あけましておめでとうございます。父母の会会員の皆様におかれましては健康やかに新しい年をお迎えのことと存じます。本年もよろしくお願いいたします。

さて、本年度も私立大学の一般入試、国公立大学の二次試験を残すのみとなってきました。原稿執筆時には共通テストも終了しておりませんので、新しい動向は把握できておりませんが、それぞれの生徒が十二分に力を発揮していることを期待しております。

本年度、国公立大学の推薦入試

による合格者は11名となっています。内訳は群馬大学1名・新潟大学1名・高崎経済大学4名・県民健康科学大学3名・前橋工科大学1名・都留文科大学1名です。今までは評定平均・欠席日数といった学校での生活が評価に影響を与えていることに加えて、部活動・生徒会活動・ボランティア活動などの授業以外の活動を評価に加えるところが多くなってきました。大学のアドミッシンポ

リシー等を確認しながら、ぜひ合格を勝ち取れるよう1・2年のうちから興味のあること、学びたいことを考えて日々の生活を送るといいと思います。

また、私立大学についても例年通りの合格者が出ています。これから入試という生徒もいると思います。寒い日々が続いておりますのでまずは体調をしっかりと整えること、そのうえで自分の実力をしっかりと発揮できるように教員一同応援しております。

さらに、附属高校からの内部進学である高崎商科大学・短期大学部への系列校推薦入試・また総合型選抜入試が11月8日からの日程で行われました。大学31名・短大9名の合計40名が合格をしております。今年度から一般・共通テスト利用も含めすべての入試区分において受験料が無料となっています。ぜひ活用いただき進路決定の選択肢にしたいと考えっております。

そして、今年度は新課程の入試1年目となりました。共通テストにも情報が加わり、各大学の動向が注目されてきましたが、国立大学はほぼ100%の大学が必須として扱い、公立大学でも必須・選択と合わせて80%とほとんどの大学で情報を課しています。ただし、本来の配点から割合を減らす大学も多く、利用することはするものの受験生の負担にはしたくないという大学側の思惑もあるようです。また、国語・数学など試験時間が



延長されている教科もあります。普段の学習ももちろん大切ですが、共通テストの対策として文章をしっかり読み、内容を理解して考えるという力を身に付けていってほしいと思います。

また、今年度は東京の一部の私立大学で、併願推薦入試に学力試験を問う学校が出てきました。次年度から同様の入試形態を考えている大学もあるようです。文部科学省の意見もあり、ニュースなどで話題になっていますが、この入試方法は何年か続くと考えています。学力を生かす入試、高校での活動を生かす入試と多岐にわたる推薦入試が私立大学では今後も続くと思われます。

ここ数年の傾向ですが、年内にかなりの人数の合格を出す学校が多くなってきています。中には、受験生に早めの選択を迫る学校もあるようです。慌てて進路を決めるのではなく、きちんと見定めて進路決定してほしいと思います。大学進学後およそ25%の学生が留年または退学するという統計もあります。ぜひ保護者の皆様にもお子様の進路について一緒に考えていただけると幸いです。

(進学指導主事・佐藤 正樹)

【就職状況】

今年度も企業の方にご協力をいただき、求人数も約1000件を超える求人数となりました。企業の方に来校していただいた求人票を提示するだけでなく、企業とのつながりを大切にしたいという思いと新規開拓を目標に、高崎市内・市外の金融・郵便・製造業・サービス業・鉄道業など数多くの企業訪問を4月から5月にかけて企業訪問を実施しました。企業の方からも心優しい言葉や丁寧な対応を

別表1 就職ガイダンス参加企業一覧 (6月3日実施)

- ANA スカイピスサービス株式会社
- 高崎森永株式会社
- 東京電力パワーグリッド株式会社
- 株式会社西武プリンスホテルズワールドワイド
軽井沢プリンスホテル
- 名鉄運輸株式会社北関東支社
- 太陽誘電ケミカルテクノロジー株式会社
- 日本郵便株式会社関東支社
- 株式会社USEN
- 株式会社JR東日本ステーションサービス
- 株式会社IHIエアロスペース
- 日本精工株式会社高崎・榛名地区統括
- 株式会社ドンレミー榛名工場
- コカ・コーラボトラーズジャパンペンディング株式
- 稲葉製作所富岡工場
- 群馬県警察 高崎警察署
- 防衛省
 - ・ 陸上自衛隊
 - ・ 海上保安庁第三管区海上保安部



していただき、心温まる思いでした。就職指導の取り組みとして就職ガイダンスを2回(4月25日・6月3日)実施しました。4月は3教室を利用し、企業採用担当の方から、各業種の仕事内容・社会人としての心構え・採用試験の注意点などを9社の方から指導していただきました。6月の就職ガイ

ダンスは、第一部「参加企業紹介・業種説明」・第二部「企業説明会・個別相談」が実施されました。(参加企業は別表1のようになっています。)各ブースにおいて具体的な企業紹介や仕事内容を説明していただき、生徒・保護者も積極的に参加し、質問等を投げかけていました。



4月 就職ガイダンス



6月 就職ガイダンス

就職希望者も自分の将来を考え、積極的に進路研究に取り組んだ結果、企業の方から高評価を頂きました。昨年同様、生徒に対して（企業情報・雇用・勤務形態など）をデータベース化し、各教室への掲示やデータ配信を行い、7月から受け付けた求人票は、生徒だけでなく保護者に情報伝達するために求人票をデータベース化したシステムを、更に見やすいようにバージョンアップしてきました。このことにより、学校ではもちろん家庭においても企業情報を閲覧する

ことができるようになりました。本年度の就職内定（12月現在）は、一般企業39名・公務員4名という状況になっています。その内訳は、製造業16名・卸売業2名・輸送業1名・サービス業11名・情報通信業3名・金融業2名・教育学習支援1名・物品賃貸1名・医療福祉業2名となっています。20年以上金融機関への就職もいなかったのですが複数名合格を出すこともできました。また、公務員希望者については、群馬県職員（警察事務）・群馬県警察（女子）・埼

玉東部消防組合・陸上自衛隊等計4名が採用されるという結果でした。この1年間を振り返ると、4月から5月にかけて企業訪問等を実施した結果、各企業の人事担当者の配慮で、群馬県内の企業や全国展開規模の各業等から数多くの内定を頂き感謝しています。これからも、進路を安心して任せられるような学校を目標により良い指導を実践して行きたいと思っています。

（職業指導主事 田村 彰康）

生活指導部より



昨年に道路交通法が改正されました。いわゆる「ながらスマホ」が対象で、自転車に乗りながらの通話、画面を注視する行為が罰則

の対象になりました。自転車は車やバイクと同じ車両であり、加害事故を起こした場合は、刑事上や民事上の責任が問われ、多額の賠償金を請求される場合もあります。法律上は自転車は車道を走行している場合は車両用の信号機に従い、歩道を走行している場合は歩行者用の信号機に従う必要があります。しかし、車道を走っていても自転車横断帯がある場合は、歩行者用の信号機に従わなければなりません。また、歩行者・自転車専用の信号機がある場合は、自転車はその信号機に従わなければなりません。道路交通法が複雑ですが、法律に従い標識通りに走行しなければいけません。しかし、正しく運転していても怪我をするのは自転車だったりするので、自身を守るためにもヘルメットを着用してほしいです。

（生徒指導主事 御供 聖）



令和5年度 決算について

学校法人 高崎商科大学

2023(R5)年度決算については、2024年5月30日開催の理事会において承認され、同日開催の評議員会に報告されました。

現在、本法人の経営状態は、日本私立学校振興・共済事業団が示す「定量的な経営判断指標に基づく経営状態の区分」に照らし合わせた場合、「Aランクの状態」(正常状態)に位置しております。この状態は、22年間連続で維持しており、財政基盤は安定していると言えます。今後もこの健全な経営状態を維持するよう、より魅力ある学園とするため教育研究内容の充実や施設設備の整備に引き続き努力してまいります。なお、財務関係書類については情報公開をおこなっており、学校法人高崎商科大学ホームページ及び各設置学校内の所定の場所で閲覧することができます。

① 資金収支計算書の状況

資金収支計算書は、その年度の諸活動に対応する資金の収入と支出のほか、その年度内において現実に収納し、また支払った資金の収入と支出について、その顛末を明らかにする書類です。

収入については、補助金収入や受取利息・配当金収入等で増加しましたが、学生生徒等納付金や寄附金収入、付随事業・収益事業収入、前受金収入等の科目で減少し、予算に対して19,604千円減の5,329,734千円となりました。

また、支出については、人件費支出、教育研究経費支出、管理経費支出、施設関係支出及び設備関係支出等で減少した結果、「翌年度繰越支払資金」は予算に対し130,323千円増加し、2,316,106千円となりました。

資金収支計算書

(単位：円)

収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	1,788,540,000	1,769,327,120	19,212,880
手数料収入	56,850,000	54,928,220	1,921,780
寄附金収入	25,225,000	22,070,100	3,154,900
補助金収入	780,630,000	787,360,641	△ 6,730,641
資産売却収入	7,698,114	7,698,114	0
付随事業・収益事業収入	23,280,000	20,256,824	3,023,176
受取利息・配当金収入	27,420,000	31,660,207	△ 4,240,207
雑収入	49,874,337	50,590,951	△ 716,614
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	317,000,000	276,315,500	40,684,500
その他の収入	329,742,595	331,439,570	△ 1,696,975
資金収入調整勘定	△ 442,479,500	△ 368,262,329	△ 74,217,171
前年度繰越支払資金	2,346,349,755	2,346,349,755	
収入の部 合 計	5,310,130,301	5,329,734,673	△ 19,604,372
支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	1,436,112,610	1,424,627,425	11,485,185
教育研究経費支出	727,492,853	681,644,372	45,848,481
管理経費支出	174,409,814	146,235,394	28,174,420
借入金等利息支出	2,528,870	2,528,870	0
借入金等返済支出	73,328,000	73,328,000	0
施設関係支出	164,496,871	159,544,559	4,952,312
設備関係支出	71,150,000	57,506,174	13,643,826
資産運用支出	365,370,000	365,370,000	0
その他の支出	202,131,666	200,749,544	1,382,122
〔予備費〕	30,107,591		30,107,591
資金支出調整勘定	△ 122,781,442	△ 97,906,298	△ 24,875,144
翌年度繰越支払資金	2,185,783,468	2,316,106,633	△ 130,323,165
支出の部 合 計	5,310,130,301	5,329,734,673	△ 19,604,372

② 事業活動収支計算書の状況

事業活動収支計算書は、その年度の「教育活動」、「教育活動以外の経常的な活動」及び「前記二つ以外の活動」に対応する事業活動収入及び事業活動支出の内容を明らかにするとともに、基本金組入額を控除したその年度の諸活動に対応する全ての事業活動収入及び事業活動支出の均衡状態を明らかにし、学校法人の経営状況を把握するための書類です。

2023(R 5) 年度の事業活動収入は予算に対して 10,289千円減の2,749,377千円、事業活動支出は予算

に対して 105,144千円減の2,518,916千円で、基本金組入前の当年度収支差額は230,460千円の収入超過となりました。また、施設・設備整備、育英基金等の基本金組入は173,054千円となり、基本金組入後の収支差額は57,406千円の収入超過となりました。

前年度繰越収入超過額の204,474千円に基本金組入後の収支差額を加え、翌年度繰越収支差額は、261,881千円の収入超過となりました。

事業活動収支計算書

(単位：円)

科 目			予 算	決 算	差 異
教育活動収支	収入の部	学生生徒等納付金	1,788,540,000	1,769,327,120	19,212,880
		手数料	56,850,000	54,928,220	1,921,780
		寄附金	17,260,000	15,137,369	2,122,631
		経常費等補助金	772,790,000	779,756,641	△ 6,966,641
		付随事業収入	23,280,000	20,256,824	3,023,176
		雑収入	49,874,337	50,590,951	△ 716,614
		教育活動収入計	2,708,594,337	2,689,997,125	18,597,212
	支出の部	人件費	1,434,365,635	1,423,171,030	11,194,605
		教育研究経費	958,759,759	913,344,939	45,414,820
		管理経費	187,581,823	159,220,517	28,361,306
		徴収不能額等	2,137,000	2,137,000	0
		教育活動支出計	2,582,844,217	2,497,873,486	84,970,731
教育活動収支差額		125,750,120	192,123,639	△ 66,373,519	
教育活動外収支	収入の部	受取利息・配当金	27,420,000	31,660,207	△ 4,240,207
		その他の教育活動外収入	0	0	0
		教育活動外収入計	27,420,000	31,660,207	△ 4,240,207
	支出の部	借入金等利息	2,528,870	2,528,870	0
		その他の教育活動外支出	0	0	0
		教育活動外支出計	2,528,870	2,528,870	0
		教育活動外収支差額	24,891,130	29,131,337	△ 4,240,207
経常収支差額		150,641,250	221,254,976	△ 70,613,726	
特別収支	収入の部	資産売却差額	7,698,114	7,698,114	0
		その他の特別収入	15,955,000	20,022,153	△ 4,067,153
		特別収入計	23,653,114	27,720,267	△ 4,067,153
	支出の部	資産処分差額	18,514,599	18,514,599	0
		その他の特別支出	0	0	0
		特別支出計	18,514,599	18,514,599	0
		特別収支差額	5,138,515	9,205,668	△ 4,067,153
〔予備費〕		20,173,424		20,173,424	
基本金組入前当年度収支差額		135,606,341	230,460,644	△ 94,854,303	
基本金組入額合計		△ 229,812,909	△ 173,054,535	△ 56,758,374	
当年度収支差額		△ 94,206,568	57,406,109	△ 151,612,677	
前年度繰越収支差額		204,474,907	204,474,907	0	
基本金取崩額		0	0	0	
翌年度繰越収支差額		110,268,339	261,881,016	△ 151,612,677	
(参考)					
事業活動収入計		2,759,667,451	2,749,377,599	10,289,852	
事業活動支出計		2,624,061,110	2,518,916,955	105,144,155	

③ 貸借対照表の状況

貸借対照表は、会計年度末における資産、負債、基本金及び繰越収支差額を把握し、学校法人の財政状態を表わす書類です。

「有形固定資産」では、大学・短大部門は、Wi-Fi環境整備、3号館外壁修繕、大学名縦看板更新工事、高校部門は、第3校舎西面外壁修繕、総合情報室機器更新、Wi-Fiネットワーク増強工事、並榎キャンパス体育館空調設置工事等で資産の増加がありましたが、減価償却等もあり、合計で対前年度39,522千円の減少となりました。

「特定資産」では、周年事業や施設設備拡充資産への増加により合計では、対前年度103,623千円の増加となりました。

「その他の固定資産」では、新たに資金運用を開始したことに伴う有価証券の増加により、合計で対前年度78,620千円の増加となりました。

この結果、「固定資産」全体では対前年度142,721千円の増加となり、本年度末9,532,187千円となりました。「流動資産」では、学生生徒等納付金の減少及び資金運用のための有価証券購入に伴い現金預金等が減少したことから、合計では対前年度127,768千円減少し、本年度末2,370,805千円となりました。

この結果、総資産は、前年度末に比較して14,952千円の増加となり、本年度末11,902,992千円となりました。

「固定負債」では、日本私立学校振興・共済事業団からの長期借入金が減少したことにより、合計では対前年度で72,057千円減少し、本年度末498,465千円となりました。

「流動負債」では、前受金や未払金、預り金が減少したことで、対前年度で143,450千円減少し、本年度末466,222千円となりました。

この結果、総負債は、前年度末に比較して215,508千円減少し、本年度末964,687千円となりました。

「基本金」では、第1号、第3号の基本金で組入れが行われた結果、基本金の合計は、対前年度で173,054千円の増加となり、本年度末10,676,424千円となりました。

また、「繰越収支差額」は、57,406千円の収入超過となり、前年度繰越収支差額の204,474千円と合わせて、翌年度繰越収支差額は261,881千円の収入超過となりました。

この結果、純資産は、前年度末に比較し230,460千円の増加となり、本年度末10,938,305千円となりました。

なお、総資産から総負債を差し引いた正味資産は10,938,305千円となり、対前年度で230,460千円増加しました。

貸 借 対 照 表

(単位：円)

資 産 の 部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	9,532,187,512	9,389,466,634	142,720,878
有形固定資産	7,425,247,110	7,464,769,827	△ 39,522,717
特定資産	898,868,208	795,245,183	103,623,025
その他の固定資産	1,208,072,194	1,129,451,624	78,620,570
流動資産	2,370,805,389	2,498,573,638	△ 127,768,249
資産の部合計	11,902,992,901	11,888,040,272	14,952,629
負 債 の 部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	498,465,317	570,522,552	△ 72,057,235
流動負債	466,222,013	609,672,793	△ 143,450,780
負債の部合計	964,687,330	1,180,195,345	△ 215,508,015
純 資 産 の 部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
基本金	10,676,424,555	10,503,370,020	173,054,535
繰越収支差額	261,881,016	204,474,907	57,406,109
純資産の部合計	10,938,305,571	10,707,844,927	230,460,644
負債及び純資産の部合計	11,902,992,901	11,888,040,272	14,952,629



10月

第17回 商大附高祭



10月19日(土)・20日(日)に商大附高祭が実施されました。

● 実行委員長 中嶋 莉子 (F2-3)

10月19日、20日に第17回商大附高祭が開催されました。今回は「Jump on ～可能性は無限大～」というテーマに沿って、商大附の可能性を広げる文化祭となりました。多くの生徒や先生方の助けを頂き、当日には様々な展示や屋台でとても華やかな文化祭になりました。私自身も多くのことを吸収し成長することができたと思います。最後に、今年度商大附高祭にご来場の皆様、そして協力して下さった皆様に感謝申し上げます。



父母の会出店「エンジェルカフェ」

父母の会本部役員のみなさまによる模擬店「エンジェルカフェ」です。前日から準備にあたり、にぎやかで楽しいハロウィーン風船や飾りで教室を装飾。当日は、お客様が途絶えることなく大盛況でした。



11月 インド人生徒との国際交流

11月8日(金)・9日(土)に、インドの中学生26名と、特別進学国際コース2年5組の生徒28名が交流会を行いました。1日目は、来校した中学生に、日本の文化や学校生活を紹介しました。2日目は、観音山ファミリーパークでアウトドアゲームやスポーツを楽しみ、高崎駅周辺を散策しました。



第39回定期演奏会

私たち吹奏楽部は、昨年11月24日の日曜日に第39回定期演奏会を行いました。定期演奏会では、部員によって曲や見せ場が異なり、司会や演出も含め、それぞれがスポットライトの中で輝く姿を見ていただけたことと思います。吹奏楽は1人では成り立たないからこそ、観客の方々にも誰かとともに過ごす幸せや、心を通わせた先にある感動を届けたい一心で練習してきました。何よりも支えてくださった先生方や保護者の皆様、そして仲間たちに音楽を通して今までの感謝が伝わっていれば、悔いはありません。最後に、後輩たちには自分たちなりの音楽を作り上げ、自分たちの音楽と、共に歩む仲間たちを愛していったほしいなと思います。



英語スピーチコンテスト



普通科特別進学国際コース2年5組の清水謙人さんが、群馬県明石杯高校生英語スピーチコンテストで優勝し、第17回関東甲信越地区高等学校英語スピーチコンテストに出場しました。「Lessons from the Past」というタイトルでスピーチを行い第2位に入賞しました。

税の作文 コンテスト

令和6年度「税に関する高校生の作文」において、F2-4本多葉恋さんの「税」が高崎税務署署長賞を受賞し、11月14日(木)に表彰式がありました。

各賞受賞



第38回群馬県高校新聞コンクール

新聞部が、上毛新聞社主催「第38回群馬県高校新聞コンクール」において、優秀賞を受賞しました。(県内11の高校の新聞部などが作成した新聞を9月27日に審査され、10月30日に表彰式が行われました)



日商簿記検定試験1級合格

S3-2 藤田 優也

始めは何もわからず、がむしゃらに学習を進めていきました。ゴールが見えず、辛い時間が続きましたが、少しずつ進めていきました。1年くらい経つと、全体像が掴めるようになりました。その後、また辛い時期がありましたが、目標を立て、毎週できることを1~3個ずつ増やしていきました。また、学んだのに間違えた箇所は、分析をし、なぜ間違えたのかをノートにまとめました。

後輩の方々へ。簿記は長期戦です。毎日、少しずつでも進んでください。数日では結果に反映されないかもしれませんが、数か月後には成長を感じられるはずです。どうか、それぞれの目標を達成できるように頑張ってください。一番大切なのは、楽しむことです。



ロッカーズ2024 決勝大会 軽音楽部 冬の陣2024

FMgunmaが主催するアマチュア音楽祭のRCKERS2024の決勝大会が、11月24日(日)に美喜仁桐生文化会館にて開催されました。県内の予選を勝ち抜いたバンドのなかで、唯一の高校生バンドとして本校軽音楽部のSense of wonderが出場しました。残念ながら入賞とはなりませんでした、オリジナル曲「春霞」「道しるべ」2曲を堂々と演奏しました。



12月14日(土)にアーツサウンドビジュアル専門学校を会場として、第13回高校生音楽フェスティバル大作戦 冬の陣2024が開催されました。

本大会は県高文連軽音楽専門部の公式大会。県内高校の軽音楽部に所属しているバンドのうち、動画予選を通過した12校16バンドが出場しました。

本校からは2年生ガールズバンド「Sense of wonder」が出場し、オリジナル曲「モノクローム」を演奏しました。10月頃から作成していた新曲の満を持しての初披露ということもあり、グルーブをしっかりと高めて本番に臨み、見事、最優秀賞を勝ち取りました！

できたばかりの新曲ということで、アレンジや音作りではまだまだ課題はあるとのこと。これからの商大附バンドの躍進に期待が膨らみます。



2024 関東大会・国スポ・全国大会 出場結果報告



アーチェリー部

R6. 11. 9～10 令和6年度第43回関東高等学校アーチェリー選抜大会

男子個人 9位 大河原宏人(F3-8) 33位 猿谷 陽(F3-11)
57位 磯田凌一(F2-6) 57位 秋山恵梧(F2-3)
女子個人 17位 吉田聖奈(F3-3) 17位 清水沙蘭(F1-4)

R7. 3. 25～28 令和6年度全国高等学校アーチェリー選抜大会

(出場予定) 女子個人 清水沙蘭(F1-4)



バドミントン部

R6. 9. 21～23 令和6年度 JOC ジュニアオリンピックカップ
全日本ジュニアバドミントン選手権大会

女子シングルス ベスト32 相川和葉(F2-10)
女子ダブルス 1回戦 新井爽月(F1-9)・磯野友香(F1-1)

R6. 9. 22～9. 23 令和6年度関東総合バドミントン大会

男子シングルス 1回戦 相川武蔵(F2-11)
男子ダブルス 1回戦 相川武蔵(F2-11)・新井佑翼(F1-5)

R6. 12. 14～12. 15 令和6年度関東高等学校選抜バドミントン大会

男子シングルス 1回戦 相川武蔵(F2-11)
男子ダブルス ベスト8 相川武蔵(F2-11)・新井佑翼(F1-5)
女子シングルス ベスト8 相川和葉(F2-10)
女子ダブルス 第3位 新井爽月(F1-9)・磯野友香(F1-1)

R7. 3. 22～3. 26 令和6年度全国高等学校選抜バドミントン大会

(出場予定) 女子学校対抗 相川和葉(F2-10)・矢嶋杏莉(F2-7)
新井爽月(F1-9)・磯野友香(F1-1)・山本佑月(S1-1)
岩間夕奈(F1-11)・中里心春(F1-5)
(出場予定) 女子ダブルス 新井爽月(F1-9)・磯野友香(F1-1)



フェンシング部

R7. 1. 15～21 U-20日本代表フェンシング・ジュニア・サーブル
ワールドカップ ボストン大会

男子サーブル個人 70位 木村珊琥(F3-9)
団体戦(日本チーム) 7位 木村珊琥(F3-9)

R7. 1. 18～19 第44回関東高等学校選抜フェンシング大会

女子エペ団体 優勝 砂山青葉(F2-11)・永沢暁佳(F2-6)
加藤里菜(F1-8)・齋藤加蓮(F1-7)・並木胡桃(F1-3)
女子フルーレ団体 第2位 砂山青葉(F2-11)・永沢暁佳(F2-6)
加藤里菜(F1-8)・齋藤加蓮(F1-7)・並木胡桃(F1-3)

男子サーブル団体 第3位 齋藤 昊(F2-5)・木樽隆詩(F1-11)・山口政宗(F1-5)
男子エペ団体 第4位 橋上 逞(F2-1)・金井 惺(F1-7)・横林悠太(S1-2)
男子フルーレ団体 出場 橋上 逞(F2-1)・齋藤 昊(F2-5)・木樽隆詩(F1-11)
金井 惺(F1-7)・山口政宗(F1-5)

R7. 3. 20～23 第49回全国高等学校選抜フェンシング大会

(出場予定) 女子エペ団体・女子フルーレ団体 男子サーブル団体・男子エペ団体



空手道部

R6. 10. 12～10. 14 第78回国民スポーツ大会空手道競技会

少年女子組手 出場 江口若奈(F3-12)

R7. 1. 18～1. 19 令和6年度第33回関東高等学校空手道選抜大会

北ブロック 女子個人形 準優勝 寺内瑠菜(F2-6)
北ブロック 男子個人組手-76kg級 優勝 金井侑晟(F2-8)
北ブロック 男子個人組手-55kg級 準優勝 温井日陽(F2-8)

R7. 3. 24～3. 27 令和6年度第44回全国高等学校空手道選抜大会

(出場予定) 女子個人形 寺内瑠菜(F2-6)
男子個人組手-76kg級 金井侑晟(F2-8)



ベップアーツ部

R7. 1. 26 第8回カラーガード・マーチングパーカッション全国大会

高等学校の部 銀賞

増田楓華(F3-11)・金田璃子(F3-9)・清水 栞(F3-1)
 松原のん(F3-2)・阿久津彩羽(F3-5)・植松美帆(F3-5)
 小林真帆(F3-6)・石丸優奈(F3-8)・松井晴恵(F3-8)
 吉澤優妃(F3-8)・藤井沙羅(F3-10)・河原唯愛(F3-11)
 境原梨蘭(F3-12)・市地結衣(F2-2)・今井夕月(F2-3)
 高田雛乃(F2-8)・阿藤千歩(F2-9)・櫻田若菜(F2-10)
 鬼形菜由(S2-1)・木島知香(S2-1)・中宮麻友(S2-1)
 倉林萌華(S2-2)・津久井優和(S2-2)・若松あやめ(S2-2)
 佐藤唯花(F1-2)・小林愛音(F1-4)・石塚万葉(F1-5)
 霞 沙彩(F1-5)・神 百花(F1-5)・広井花音(F1-7)
 後藤愛佳(F1-8)・三津田敬子(F1-10)・櫻井優花(F1-11)
 小林音衣(S1-2)



文芸部

R6. 12. 21 第39回全国高等学校文芸コンクール

短歌部門 優良賞

高橋健太郎(F3-11)

文芸部誌部門 奨励賞

高崎商科大学附属高校文芸部



バトントワリング部

R6. 10. 19 第59回バトントワリング関東大会

銀賞

長坂心暖(F3-8)・三友菜緒(F3-8)
 徳江里光央(F3-6)・丸山愛未(F3-8)
 岩井幸恵(F3-11)・大橋紗蘭(S3-2)
 兼久イオ(F2-8)・石井星風(F2-10)
 川野由紗(F1-2)・小澤ななみ(F1-4)
 近藤花連(F1-5)・齋木芽衣(F1-8)
 宮一結愛花(F1-8)・木村美春(F1-10)
 伊藤 楓(F1-11)



放送部

R7. 1. 26 第22回関東地区高等学校放送コンクール

朗読部門 出場 大塚千音(F2-1)

アナウンス部門 出場 伊藤彰利(F2-8)



編集後記

温暖化が進んだとはいえ、県北部の水上や草津では雪の多い冬でした。

高崎周辺では雪こそ降りませんでしたが、零度を下回る朝が多く寒さが身にしみる冬でした。

3月になると2年生が修学旅行に出かけます。進学コース・総合ビジネス科は九州・四国方面へ、特選・特進・特国コースは、コロナ禍により中止されていたマレーシア修学旅行が復活します。

この時期、九州地方は暖かく、福岡の大宰府では紅白の梅の花が満開を迎え、ハウステンボ

スではチューリップ祭が開催され、春の訪れを実感することができます。一方、マレーシアは亜熱帯の国ですので、気温は年間を通して30度を越え、服装も景色も大きな変化はありません。衣替えもなく軽装で過ごせることは楽な面もありますが、少し物足りない気もします。光・風・空気の違いで季節の変化を感じ、様々な木々や花々を愛で、旬の食を堪能することは、日本の暮らしの大きな楽しみとなっています。

いつもとは違う土地や国を訪れて、見て、聞いて、味わって、存分に楽しみ心に残る旅になることを願っています。(教頭 大澤)